

# 感染症についてのお知らせ



墨田区保健所 保健予防課 感染症係 区役所3階  
電話 03-5608-6191(直通) FAX 03-5608-6507

令和4年  
5月号

## 感染症のお知らせ

### 墨田区における感染性胃腸炎の発生状況

東京都感染症情報センターの「東京都感染症週報」では対象疾患全般で定点当たり報告数が例年並み以下になっていますが、例年この時期に「感染性胃腸炎」の報告数が増えてきます。墨田区では4月以降、保育園での集団発生が続きました。集団生活を送る場所では、日ごろから感染対策に留意し、施設内で感染者が確認された場合は速やかな感染防止対策が必要です。

### 感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどにより下痢・おう吐などの胃腸炎症状を起こす感染症の総称です。主に冬場に多く流行しますが1年を通じて発生が見られます。原因となる病原体の多くがノロウイルスです。その他にも「ロタウイルス」「アデノウイルス」「サポウイルス」などがあります。

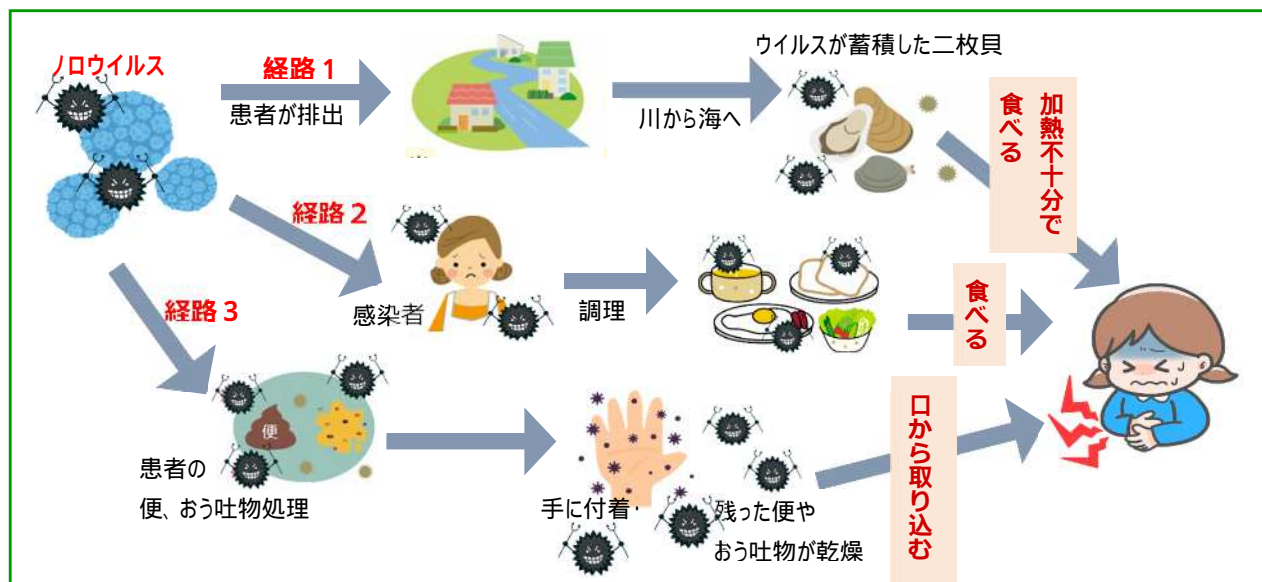
### ノロウイルスとは

ノロウイルスは、あらゆる年齢の人に急性胃腸炎を起こし、ウイルス量が100個以下の極少量でも感染する**感染力の強いウイルス**です。

感染後、24～48時間の潜伏期間の後、下痢、おう吐、腹痛、発熱などの症状が出ます。通常3日以内に回復しますが、ウイルスは感染してから1週間程度便の中に排泄され続けます。

感染者の便やおう吐物には1グラムあたり100万から10億個もの大量のウイルスが含まれており、適切な処理を行わないと**二次感染がおこりやすい**といった特徴があります。

### 感染経路



(東京都保健福祉局作成の「社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアルダイジェスト版」より引用(改変))

## 感染予防のポイント

**最も有効な感染予防対策は手洗い**です。

外から帰宅後 食事、調理前 トイレの後 は  
流水とせっけんで手を洗いましょう。

手洗い後は、清潔なタオルや、ペーパータオルなどで手を拭き、  
他の人とのタオルの共有はやめましょう。

せっけんの油になじみやすい部分（親油基）が汚れの周りを取り囲み、水になじみやすい分（親水基）が浮かび上がらせて落とします。皮脂やほこりなどの汚れと一緒にウイルスや細菌を洗い流すことができます。



外から帰宅した後  
食事、調理前  
トイレの後

ノロウイルスはカキなどの二枚貝に潜んでいることがあります。調理する際は、中心部まで十分に加熱しましょう。  
（中心温度 85 ~ 90 で少なくとも 90 秒間の加熱が必要です）。

便やおう吐物を処理するときは、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを  
着用しましょう。

ノロウイルスには、脂質性の膜がないためアルコール消毒剤が

効きにくい傾向にあります。**次亜塩素酸ナトリウム（塩素系の漂白剤）**を使用しましょう。

- マスク
- 使い捨てエプロン
- 使い捨て手袋

## 次亜塩素酸ナトリウム水溶液の取り扱い



～特徴～

- \* 光にとっても弱いです
- \* 照明の明かりでも分解されていきます



～保存方法～

- \* 遮光ボトルに保存しましょう
- \* 遮光ボトルがない場合は  
アルミホイルを巻きましょう

## 原因不明の子どもの急性肝炎が報告されています

欧米で若い子どもを中心に報告されている原因不明の急性肝炎。日本国内では5月13日現在、この肝炎の可能性のある子どもは12人報告されています。欧米の症例報告では、患者の多くはおう吐、下痢、黄だんなどの症状が出ています。原因は不明ですが、欧米では多くの患者から「アデノウイルス」が検出されたとの報告があります。アデノウイルスは飛沫だけでなく接触感染で広がることも多いので手洗いはしっかりしましょう。

【お問い合わせ】墨田区保健所保健予防課感染症係 03-5608-6191

このお知らせは、東京都感染症情報センター（<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>）の情報及び東京都健康安全研究センターが  
集計を行った「東京都感染症発生動向調査週報」（<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/epidinfo/>）を基に作成しています。